



平成26年5月29日

各位

会社名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号4524 東証第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

経口ワクチンの特許権取得に関するお知らせ

森下仁丹株式会社（本社：大阪府中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、神戸大学大学院医学研究科感染症センターの白川利朗准教授とビフィズス菌を応用した経口ワクチンを研究し、ビフィズス菌および独自の腸溶性シームレスカプセル化技術を用いた経口ワクチンについて特許を出願しております。この度、本技術に関して日米で新たに特許を取得致し、より強固な知財権を確保出来ましたのでお知らせいたします。

感染症を引き起こすウイルスや細菌特有の抗原タンパク質をビフィズス菌の内部もしくは、その表面に発現するようにし、これをワクチンとして内服することで、抗原に対する抗体を体内で作らせワクチンとして機能させるものです。さらに、このワクチンは胃酸の影響を受け易いため、当社独自の耐酸性シームレスカプセルに包み腸まで届けることで、その機能がより効果的に発揮されるというものです。

現在、インフルエンザに代表される感染症の予防にはワクチン注射が行われており、東南アジア等の感染症の発生頻度が高い地域を訪れる人々には感染予防の為にワクチン注射が主体となっています。このような中、注射よりも容易で安価な投与方法として飲むタイプのワクチンを開発するもので、抗原タンパク質発現遺伝子とビフィズス菌、これをカプセルに包んだ経口ワクチン剤に対して特許されたものです。この技術は、予防だけではなく、慢性C型肝炎などの治療が困難な疾病に対する治療用ワクチンとしても利用が可能です。

森下仁丹では、様々な新用途カプセルの実用化へ向けて積極的に取り組んでおり、本技術の特徴を活かした新規の医薬品開発を推進し、中長期に亘る業績の向上と企業価値の拡大を目指して参ります。

なお、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

新たな取得国	出願番号	発明の名称	出願人	既取得国
米国	12/531507	経口ワクチン	森下仁丹	日本
日本	2011-531985	ビフィズス菌表層提示融合タンパク質発現遺伝子	森下仁丹 神戸大学	米国

以上